





(4)「食を通じたコミュニケーション(会話)の促進」

「コミュニケーション」に関するウィッシュポエム

- ・お母さんが早く帰って来て台所に立つ時間が長かったらいいね
- ・心から「おいしいな～」と言ひあえる、気持ちも満腹になるといいね
- ・食事をもっと楽しめたらいいね
- ・みんなで手をつなげたらいいね
- ・子どもと一緒におやつを作れるようになったらいいね

現状	大切にしたい事	目標・対応策
<p><b>家庭</b> 塾や部活、長時間労働等により、家族の食事時間が合わず、家族一緒に食事をとることが難しくなっている。 食事中にテレビをつけている家庭が多い。子どもが食事作りを一緒にする機会が少ない。みんなで作って食べる食事は楽しいと感じている。</p> <p><b>地域</b> 地域でのコミュニケーションの場が希薄になった。 地域集まって料理をする機械が少なくなった。地域で、昔の知恵や料理を学ぶ機会が少なくなった。 地域によってサロンやお茶の間などふれあいの場がある地域とない地域がある。 新たなことに参加しようと思っても、一歩が踏み出せない。</p> <p><b>行政</b> 保育園や幼稚園、学校では、給食の時間がコミュニケーションの場の一つになっている。</p> 	<p><b>家庭</b> 家族そろって食事をする日を設ける。 家族みんなで食事を楽しめる環境を整える。 野菜や食事作りを家族で行う。</p>  <p><b>地域</b> しまびと元気応援団活動を通して新しい出会いや学びがあるとよい。 人とのつながりや、生きがいづくりを考えられるとよい。 地域の場に子どもと高齢者が集い、昔の知恵や郷土料理を学ぶなどして一緒に過ごせるとよい。 人が集う場に積極的に参加する。</p> <p><b>行政</b> 保育園や幼稚園、学校では、給食の時間を楽しく過ごせるように環境を整える。</p>	<p><b>1. 家族そろって楽しい食事ができる。</b> (家庭) 家族で献立を考える。 食事中はテレビを消し、会話を楽しむ。 食事づくりや後片付けの手伝いを通し、家族の会話を持つ。 子供、お父さん、おじいちゃんの料理デーや行事食、誕生日などのイベントを行う。 家庭菜園で野菜をつくり、収穫の喜びを共有する。</p>  <p>(地域) 季節に合わせて昔ながらの地域行事を行う。 忙しい家庭には一品おすそ分けをする。 親と子の料理コンテストを行う。</p> <p>(行政) 家族そろって食事をする事の大切さを啓発する。 お父さん、お母さん早く帰ろう家族の日をもうける。 給食時間の時に楽しい食事体験をする。</p> <p><b>2. 食を通して地域の人がつながりを持つ</b> (家庭) 農作物を持ち寄り、ホームパーティーをする。 各種料理教室に参加する。</p>  <p>(地域) 地域の料理名人から教えてもらう。 ご自慢料理を持ち寄り、地域で楽しむ。 季節の行事を開催し、大勢で食事をする場をつくる。 親と子の料理コンテストを行う。 手作り野菜の交換会を行う。</p> <p>(行政) 他地区の郷土料理教室を行う。 親子料理教室や対象者別(若い人向けなど)の料理教室を行う。 世代間交流を行う。</p>

< 重点施策 >

家族や仲間がそろって楽しい食事ができる。

< 目 標 >	1日1回家族2人以上で楽しくゆったりと食事をする 食事中にテレビを消して食べる。	94% 65.8%	100% 72.0%
---------	---	--------------	---------------